

令和8年度「学校力」向上研修会～地域とともにある学校づくり～

令和8年6月19日(金)、管内の教職員や市町(組合)教育委員会学校教育担当者、社会教育担当者を対象に、令和8年度「学校力」向上研修会～地域とともにある学校づくり～を開催しました。昨年度同様、管理職の先生方はオンラインで、その他の教職員は参集型とし、各校複数名で参加していただきました。

今年度は文部科学省 CS マイスター 福田 範史 様による講義と、参加者による研究協議をとおして、地域との連携・協働による学校運営を充実させるために必要な視点を学ぶ研修を行いました。

講義では、学校と地域が連携・協働し、学校運営や教育活動を充実させていくためには、日常的に対話することをとおして対等なパートナーシップを築き、学校と地域が目的やビジョン、目指す子ども像を共有すること、学校の課題解決と地域づくりを一緒に考えた協働が必要であることを学びました。また、研究協議では「カリキュラム・マネジメント」の視点を加えることで、より具体的な教育活動の在り方について対話する時間になり、当事者意識を高めることにつながりました。

この研修会を機に、すべての教職員が地域と協働しているという意識をもち、地域人材や資源等を生かしたマネジメントがなされ、コミュニティ・スクールがより一層充実していくことを期待します。

《感想》

- ・ 地域の宝である子どもたちを学校と地域が共にパートナーとして育てていく、成長を支えていく、そのために互いに意見を交わし、協力体制を構築して進めていく必要性を確認できた。
- ・ 地域と連携していくことは、子どもたちが地域の良さに触れ、自分たちの暮らす地域への愛着や誇りをもつことにつながっていくと思った。
- ・ 「弱みをみせられる学校」という言葉が心に残った。失敗しても次につなげていくこと、多様な幅をもつことをもっと意識していきたいと思った。

